



アロマライセンスカレッジ
首藤 美重子 学院長

AEAJ認定アロマテラピーアドバイザー・インストラクター、アロマセラピスト。下着の製造・販売、リラクセーションサロンを営む中で出会ったアロマテラピーの認知度を高めようと、ボランティアや講演会なども積極的に行っている。

AEAJ総合資格認定校 アロマライセンスカレッジ

公益社団法人日本アロマ環境学会法人会員。年中無休で夜や祝日でも対応のフリータイム制で合宿や通信講座もあり、仕事をしながらでも自分のペースで学べるアロマスクール。



(右上)学院長を支えるスクールの講師陣。共に学び、資格取得を目指した同士でもある(右下)仕事をしながら通う、意欲溢れる生徒さん。「アロマを学ぶ人は、人を癒してあげたいという優しい方が多いんです」と学院長(左)首藤さんオリジナルのアロマエッセンシャルオイルケース。



ア・ロ・マ の チ・カ・ラ enjoy aroma life 香りでお手伝い アロマライフ ～ VOL.9 ～

スクールを通して
『感謝される喜び、
『奉仕の心』を伝えたい

「エステサロンを手掛ける中でアロマに出会い、まずはアドバイザーの資格を取得。福岡での受験だったのですが周りを見回すと若い人から年配の方、そして男性もいて、アロマに関心のある人がこんなにいるんだと思いました」。しかしその当時、熊本でのアロマの認知度はまだ低く、約10年の月日が流れた。「本業は下着の製造販売やエステサロンの経営ですが、昨年が独立して25年の節目だったこともあります」、「アロマの学校を作ろう!」と一念発起。開校に必要な、インストラクターとセラピスト資格の合格を目指したんです。その時は、生涯で一番勉強しました(笑)。忙しい仕事の傍ら、植物の学名を単語帳にまとめたり

そして同時に、アロマを使ったボランティアにも熱心に取り組むようになりました。「それぞれの施設に、1ヶ月に1回1年間は通い続ける」と決めています。アロマの良いところは薬理効果と香りを使ってその人に最適なオイルを選ぶため、一对二で向き合って話を聞く『傾聴』から始まる

こと。そして手の温もりを使うために、家族のために将来のために、スクール生それぞれの目標に向かって、首藤学院長が力強く背中を押してくれている。

「エステサロンを手掛ける中でアロマに出会い、まずはアドバイザーの資格を取得。福岡での受験だったのですが周りを見回すと若い人から年配の方、そして男性もいて、アロマに関心のある人がこんなにいるんだと思いました」。しかしその当時、熊本でのアロマの認知度はまだ低く、約10年の月日が流れた。「本業は下着の製造販売やエステサロンの経営ですが、昨年が独立して25年の節目だったこともあります」、「アロマの学校を作ろう!」と一念発起。開校に必要な、インストラクターとセラピスト資格の合格を目指したんです。その時は、生涯で一番勉強しました(笑)。忙しい仕事の傍ら、植物の学名を単語帳にまとめたり

問題集を繰り返し解いたりと、深夜まで勉強に励む日々。その努力が実り、晴れて55歳で2つの資格の一発合格。さらには本場・イギリスにも足を運び、予防医学のために用いられているアロマテラピーの本来の力を体感するなどさらなる知識を携えて、念願のアロマスクールを開校した。

そして同時に、アロマを使ったボランティアにも熱心に取り組むようになった。「それぞれの施設に、1ヶ月に1回1年間は通い続ける」と決めています。アロマの良いところは薬理効果と香りを使ってその人に最適なオイルを選ぶため、一对二で向き合って話を聞く『傾聴』から始まる

こと。そして手の温もりを使うために、家族のために将来のために、スクール生それぞれの目標に向かって、首藤学院長が力強く背中を押してくれている。

問題集を繰り返し解いたりと、深夜まで勉強に励む日々。その努力が実り、晴れて55歳で2つの資格の一発合格。さらには本場・イギリスにも足を運び、予防医学のために用いられているアロマテラピーの本来の力を体感するなどさらなる知識を携えて、念願のアロマスクールを開校した。

そして同時に、アロマを使ったボランティアにも熱心に取り組むようになった。「それぞれの施設に、1ヶ月に1回1年間は通い続ける」と決めています。アロマの良いところは薬理効果と香りを使ってその人に最適なオイルを選ぶため、一对二で向き合って話を聞く『傾聴』から始まる

こと。そして手の温もりを使うために、家族のために将来のために、スクール生それぞれの目標に向かって、首藤学院長が力強く背中を押してくれている。